

平成 29 年度
事業計画書

公益財団法人燕三条地場産業振興センター

【1】新市場販路開拓事業

○ 事業費：58,521千円

○ 財 源：事業収入6,120千円 市負担金45,401千円
繰越金7,000千円

☆ 事業の重点

◇ センター職員が他地域の発注案件を有する企業や成長ビジネス関連分野などの有力企業を訪問、燕三条地域の加工技術等をPRして新規受注獲得につなげる。

◇ 技術系展示会へ地域企業と共同出展して地域産業のPRを行い、地域企業の販路拡大を推進する。

(1) 受注促進・販路開拓支援事業

(事業費：58,521千円 財源：事業収入6,120千円 市負担金45,401千円
繰越金7,000千円)

① 地域外企業訪問による受注促進

- 1) 地域で対応可能な案件を有する成長産業分野の企業等への個別訪問
- 2) 他地域支援機関との連携による情報交換会を開催し、販路開拓へ結びつける。
- 3) 地域企業とともに県外企業工場訪問などを行い、受注促進活動を展開する。

② 販路開拓コーディネーターとの連携による受注促進【新規】

- 1) 首都圏における新規案件の情報収集
- 2) 有力企業への当地域企業のPRと受注開拓

目標値：引き合い件数710件、成約件数70件

③ 燕三条地域企業との技術系展示会への共同出展による受注促進

機械要素技術展及び関西機械要素技術展に地域企業と共同出展し、地域産業のPRを行い、地域企業の販路拡大を推進する。

【出展展示会】

	時期	期間	小間数	共同 出展	目標件数	
					引合い	成約
機械要素技術展	6月	3日間	7小間	23社	225件	24件
関西機械要素技術展	10月	3日間	3小間	7社	80件	10件

④ 地域内外企業への情報提供

- 1) 登録企業約670社に引合い・セミナー案内、産業振興部の活動報告などを掲載したリサーチコア通信をFAX送信し、地域企業の事業活動を支援する。
- 2) 展示会などで名刺交換した企業担当者及び企業訪問で面会した担当者に対し、燕三条地域企業の加工技術や新商品、展示会出展情報を電子メールなどで紹介し、展示会への来場及び燕三条地域企業への問い合わせを促すきっかけとする。

⑤ 「燕三条 工場の祭典」

燕三条地域産業のイメージアップと製品PRを図るため、地域企業や市と連携して一般来場者へ工場を開放する燕三条工場の祭典実行委員会事務局を担う。地域企業の生産現場を全国から集まる消費者やバイヤー等から見ていただき、高品質な燕三条製品への理解と燕三条地域産業の認知度を向上し、販路拡大を目指す。

【2】 企業開発力強化事業

○ 事業費：50,365千円

○ 財 源：事業収入13,494千円 その他補助金10,000千円
民間助成金600千円 市負担金26,271千円

☆ 事業の重点

◇ ものづくり革新会議を軸に、長期的視点でのものづくり開発力の強化を目指し、地域企業の技術力強化や新分野進出を推進する。

◇ 日本海側最大級の B2B 展示商談会「燕三条ものづくりメッセ」を県内外の各機関と連携して開催し、ものづくり系ビジネスマッチングの場として定着させる。

(1) 産学連携共同研究開発事業

(事業費：5,495千円 財源：事業収入1,674千円 民間助成金600千円
市負担金3,221千円)

当地域企業が有する技術の強みを強化し弱点を補強して技術を骨太とするために、大学等と連携して産学共同開発を推進し、有力な新産業分野への参入を支援する。

① ものづくり革新会議

当地域の技術開発力を高めて持続的に発展をめざす中核的研究会とする。具体的には設計・デザイン分科会、材料分科会、加工の3分科会での調査研究活動を進め、3年後を目標に当地域で今後取り組む技術テーマにつなげる。また以下の専門研究会の方向付けも行う。

② 専門研究会

1) 3Dプリンター活用技術研究会

試作や部品用として主流となっている樹脂系3Dプリンター関連の周辺技術開発等を行う。特に研磨、めっきなど当地域の得意とする表面処理技術を継続的に進めるとともに、金属系の造形技術動向についても継続的に情報提供を進める。

2) エッジ形成と評価技術研究会

当地域の基盤技術である各種刃物の切れ味定量化を進める。平成27年度より進めている切断力評価試験技術を確立させ、参加企業への具体的な支援を進める。

3) 溶接・接合技術研究会

当地域に導入が進んでいるファイバーレーザーや高精度抵抗溶接機などによる高信頼性溶接技術の確立を目的に、異材接合技術や各種評価技術など共通課題の実験研究を進める。

4) 表面処理技術研究会

当地域の基盤技術であるめっき、陽極酸化、黒染めなどの表面処理について、前処理技術や、品質保証のための分析評価技術の紹介や普及を進める。

5) IoTセンシング技術研究会【新規】

生産現場のIoT(インターネットを使って生産や商品の管理などを行うこと)や製品のIoT化などについて、参加企業自身が装置を構築できる用にするための基礎実験や情報提供等を行う。具体的には小規模事業者におけるIoTの活用事例や方法についての情報を提供し、Arduinoなどのマイコンチップと変位、照度、加速度や画

像センサーを使った装置の製作を行い、工場への適用検討を進める。

(2) 技術開発総合支援事業

(事業費：6,677千円 財源：事業収入1,620千円 市負担金5,057千円)

地域企業の技術面での課題解決を支援し、顧客との信頼関係の構築や新しい経済価値（生産性の向上や利益）を生み出すことを目的とする。

① 知的財産権相談

当地域企業の開発製品や製造技術などの特許、意匠、商標について、専門家からの助言をいただく特許相談会を実施し、ボトムアップを図るための知財セミナー等も検討する。

② 技術専門家派遣

企業や大学教員のOB等による技術指導を進め、地域企業の課題解決と体質強化を行う。

特に小規模事業者のニーズを開拓し派遣を増やす。

③ 職員による技術相談

加工上の不具合対策や技術高度化などの地域企業からの技術的な相談を問合せに対応、企業に直接出向いて潜在的な課題を掘り起こし、地域企業の課題解決を行っていく。

④ 機器利用促進

機器を利用した相談事例を拡大させ、技術的な根拠の伴う開発やクレーム対策を普及させる。

消耗品（蛍光X線検出器）の交換を行い、地域企業のニーズに応える。

⑤ 新規設備導入【新規】

長期的な視野に基づいた設備の導入・更新計画を進めるため、学識経験者などによって構成される設備導入検討委員会を立ち上げる。

⑥ 地域団体のサポート【新規】

燕三条メーカーズサポートネットワーク（試作・小ロット品対応力強化プロジェクトがセンターから独立して運営）のサポートを行う。

(3) 燕三条ものづくりメッセ開催事業

(事業費：38,193千円 財源：事業収入10,200千円 市負担金17,993千円)

その他補助金10,000千円)

当地域企業が主体となる出展者と来場者等とのビジネスマッチング創出を目的として、東京都など全国各地と連携し日本海側最大級のB2Bの展示商談会を、昨年引き続き開催する。

① 名称：燕三条ものづくりメッセ2017

② 会期：平成29年10月26日（木）～27日（金）

③ 会場：燕三条地場産センターメッセピア多目的大ホール、リサーチコアデザインギャラリー他

④ 出展規模：240社程度

共同出展などにより、展示内容に合わせた柔軟な小間構成で進める。

- ⑤ 出展団体：燕三条地域で優れた技術を有しながら未出展の企業の出展を促す。
- ・ 燕三条地域企業：120 社(平成 28 年度 123 社)
 - ・ 特別協力団体：20 社(平成 28 年度 14 社)
 - ・ 地域外各種加工技術装置企業：80 社（平成 28 年度 81 社）
 - ・ 大学、業界団体、ソリューションなど：20 団体（平成 28 年度 23 団体）
- ⑥ 来場者数：目標 8,500 名
(平成 28 年度 8,651 名 平成 27 年度 5,816 名 平成 26 年度 5,354 名)
- ⑦ 展示会概要
- ・ 展示会での商談、ビジネスマッチング
 - ・ 受発注商談会（東京都 2 年目）
 - ・ 学会連携講演会
 - ・ 著名人による特別講演
 - ・ ものづくり革新会議特別シンポジウム

【3】海外販路支援事業

○ 事業費：70,646千円

○ 財 源：事業収入1,194千円 市負担金69,452千円

☆ 事業の重点

- ◇ 燕三条地域企業の海外販路拡大を目的として、シンガポール及び中国（成都）で燕三条製品のモニタリングを行い、アジアでの市場開拓を推進する。
- ◇ 欧州での販路開拓を行うため、地域企業とともにアンビエンテ（ドイツ）に出展する。
- ◇ 首都圏での体感型ショールーム（TS Satellite）・燕三条 Wing・リサーチコアデザインギャラリーを活用した情報発信により、ブランド力の向上を図る。
- ◇ 燕三条プライドプロジェクトによりさらなる地域の魅力づくりと発信を進める。
- ◇ 地域資源を活用した商品開発ワークショップや、デザイン賞取得への支援などを通じて、「ものづくりのまち 燕三条」の基盤強化を進める。

(1) 海外販路支援事業

（事業費：47,548千円 財源：事業収入800千円 市負担金46,748千円）

① 総合相談窓口の開設【新規】

新たに海外販路専門員を配置し、海外事業に関する総合相談窓口の開設対応及び販路開拓等の活動支援を行う。

② 燕三条地域の海外展開総合戦略の策定【新規】

海外ネットワークを有する支援機関・団体、大手貿易商社・メーカー、金融機関等の有識者及び地域の業界団体代表者等をメンバーとする「燕三条海外展開戦略会議（仮称）」を立ち上げ、地域の将来を見据えた海外展開総合戦略案の策定を行う。

③ セミナー・勉強会等の開催

B2B（企業間商取引）輸出ビジネスを推進するため、商材や技術の提案を国内で開拓する勉強会を開催する。また、これから貿易を始めたい方や海外業務に携わる方などを対象に、貿易実務の基礎を理解するための講座・セミナーなどを開催する。

1) 輸出ビジネス国内マッチングセミナー（2h×3回、10名）【新規】

2) 貿易実務講座（JETROとの共催）（2h×3回、10名）

3) 海外販路開拓セミナー・個別相談会（中小機構との共催）（2h×3回、10名）

④ ベトナムとの交流連携調査【新規】

日本貿易振興機構の地域間交流支援事業を活用するため、燕三条地域とベトナムとのB2Bを主力としたビジネスマッチングの事前調査及び申請準備を行う。

⑤ 燕三条製品の販路開拓支援

燕三条製品の東南アジア（シンガポール）、中国（成都）、欧州での販路開拓を推進する。

1) シンガポール及び中国（成都）での燕三条製品のモニタリングの実施【新規】

・ 実施時期（予定）：

シンガポール：H29/11月～H30/1月、中国（成都）：H29/8月～10月

- 2) 中国 EC サイト出展プラットフォームの調査検討（四川省成都市、重慶市）【新規】
- 3) 欧州展示会への出展への共同出展
世界最大の消費財見本市（アンビエンテメッセ）に出展し、ドイツを起点とした欧州マーケットでのブランド力向上と販路拡大を図る。
- ⑥ 燕三条ものづくり企業海外販路開拓プロジェクト（JETRO との共催）
3年計画の共同プロジェクトの最終年度は、1年目の事業で作った燕三条のファン、2年目の事業で招へいた海外バイヤーとのネットワーク、ビジネス実績等を基盤として、燕三条ブランドをより広範囲に、かつ多角的に世界市場に定着させることを目指す。
- 1) 共同制作、販路拡大のサポート
海外バイヤーと地域企業との商談フォロー及び共同制作の個別サポートを行う。
- 2) メディアとの連携【新規】
国内外のメディアと連携し、燕三条地域の PR 映像を共同制作する。映像は現地テレビ局またはネット番組などによって世界に発信し、「燕三条ブランド」を定着させる。
- 3) 共同輸出体制の仕組みづくり支援【新規】
海外の同一地域に多品種小ロット品を輸出する場合の輸送コストや手間を最大限削減するため、既存の商流を阻害することなく、それら商品を取りまとめて輸出できる体制を整備することで、燕三条地域の輸出を後押しする。
- ⑦ インバウンド事業の実施
- ・ ビジットジャパン事業などを視野に現地での PR や招聘事業等を行い、海外からの旅行者の誘客を図る。
 - ・ 外国人旅行者向けに、観光パンフレットなどを多言語化する。
 - ・ 外務省事業「連携し地域の魅力発信セミナー」において地域 PR を行う。
- ⑧ 欧州マーケットに向けたブランド力強化
- ・ 国際デザイン賞（IF デザイン賞など）の取得支援を行う。
- (2) 燕三条ブランド推進事業
(事業費：23,098 千円 財源：事業収入 394 千円 市負担金 22,704 千円)
- ① 体感型情報発信事業【新規】
首都圏に整備した地域商品を使用できる場（店舗）を活用し、情報発信力の高いメディア等を招聘したプレゼンテーションの実施等により、商品・技術・食材の PR を図る。
- ② プライドプロジェクト事業
各種プライドプロジェクトの支援により燕三条ブランドの推進を図る。
- ・ 地域の農産品を活用したお土産品の開発
 - ・ 朝カフェなどの企画運営
 - ・ 燕三条まちあるきの企画運営
 - ・ グリーンツーリズム事業の支援

- ・ ブランディングアートプロジェクトの実施
 - ・ 燕三条の逸品プロダクト開発支援
- ③ 燕三条 Wing の活用
- 地域の優れた商品の展示・販売、ものづくり定期イベントの開催により、燕三条ブランドの推進を図る。また、通販サイト「自治体特選ストア」で燕三条製品の販売及び地域PRを行う。
- ④ デザインギャラリーの運用
- 国内外デザイン賞を受賞した商品等の展示により地域のPRを行う。
- ⑤ プロユース向け商品開発事業【新規】
- 首都圏で活躍する情報発信力・著名性の高いシェフ2〜3名と地域企業のマッチングを行い、商品開発ワークショップを開催。プロの使い手のニーズを汲んだ開発力の強化と、発信力の高いシェフを介した小ロット特注品への訴求をし、燕三条ブランドの基盤強化を図る。
- ⑥ 国内デザイン賞取得支援
- グッドデザイン賞へ取り組む企業を増やす為、応募説明会の開催・申込みに対するアドバイスを行う。また、地元のほか、丸の内グッドデザインストアでの受賞イベントを開催し、全国屈指の受賞数を誇る燕三条のデザイン開発力をPRする。
- ⑦ 商品企画・デザイン個別相談
- 地域企業からの商品企画、デザイン開発の相談対応や外部デザイナーとのマッチングを行い、地域ブランド力向上の基盤となる開発力向上を支援する。
- ⑧ 燕三条ブランド推進会議等の開催
- 支援機関・団体・業界の声を反映し、意思統一を図りながら事業を推進する会議を開催する。
- ⑨ 地域デザイン団体活動支援
- 燕三条デザイン研究会・つばめデザイン研究会の活動に対するサポートを行う。

【4】企業人材育成事業

○ 事業費：13,475千円

○ 財 源：事業収入4,773千円 市負担金8,702千円

☆事業の重点

◇地域企業の在職者訓練として、新たにマネージャークラスを対象に、生産現場改善の基本となる流れを学ぶセミナーを開講し、現場改善力の強化を図る。

◇ 燕三条地域企業の営業活動を活性化するため、研修会を通じて支援する。

◇ 広報誌・メルマガ・ホームページ等によって企業向け支援情報の発信を行い、センターの利用促進に努める。

◇ 燕三条地域企業の経営や IT に関わる課題解決のため、専門家を企業に派遣して個別相談に対応する。

◇ 新事業立ち上げや新製品開発などを戦略的に支援するため、専門家を継続的に派遣して対応する。

(1) 燕三条ものづくり大学事業 (技術研修)

(事業費：3,205千円 財源：事業収入3,205千円)

地域企業の在職者訓練として各種技術研修を実施し、新製品の開発や有力企業などと協働するための知識や課題解決能力の向上を図る各種を開催する。

① 新人基礎コース (1コース)

1) 図面の見方と金属材料と加工基礎講座 (6時間×3日間、15名)

主に技術系の教育を受けずにものづくり現場に配属された入社3年までの社員を対象とし、それらが必要とする図面の見方、各種材料の特性や加工技術等の基本を習得する講習会

② 技術基礎コース (4コース)

1) 金属材料基礎講座 (2時間×12日間、20名)

主に鉄鋼材料や軽金属材料の特性や用途などの基礎的知識を習得する講習会

2) 図面の見方・描き方入門講座

(2時間×9日間 前期コース 15名 後期コース 15名)

最新の JIS 規格に基づいた製図法を習得する講習会

3) 製造現場に必要な数学・物理・化学の基礎講座 (2時間×5日間、15名)

各種技術や材料の基本となる力学、三角関数、化学反応などの基本を身につける講習会

4) CAE 入門講座【新規】 (3時間×3日間、15名)

三次元 CAD と応力解析ソフトウェアを使って、製品等の変形や破壊を数値解析するための基本を学ぶ講習会

③ 専門分野集中研修コース (5コース)

1) 溶接技術集中講座 (3時間×3日間、15名)

溶接に必要な金属材料の基礎、各種溶接技術、材料の溶接特性などを習得する講習会

2) プレス加工集中講座 (3時間×4日間、15名)

- プレス機械、絞り加工、せん断加工の基礎知識と応用技術を習得する講習会
- 3) 表面処理集中講座 (3 時間×3 日間、15 名)
めっきなどの表面処理や腐食防食に関する知識を習得する講習会
- 4) 熱処理集中講座 (3 時間×3 日間、15 名)
刃物等の製品や金型等の工具の熱処理技術の基本を習得する講習会
- 5) 知財活用技術講座 (3 時間×3 日間、10 名)
特許、実用新案などの知的財産について理解し、自ら出願できる能力を習得する講習会
- ④ 生産現場に対応する技術マネジメントコース (2 コース)
- 1) 燕三条ものづくり現場改善基礎講座【新規】(2 時間×6 日間、20 名)
生産現場のマネジメント、特に現場改善についての考え方の基礎を学ぶ講習会
- 2) テクニカルプレゼンテーション力強化講座 (2 時間×4 日間、10 名)
社内及び外部への技術文書の書き方及びプレゼンテーション方法を実践的に学ぶ講習会
- (2) 経営力強化支援事業
(財源：10,270 千円 財源：事業収入 1,568 千円 市負担金 8,702 千円)
- ① 企業向け情報・経営系研修会の開催 (ものづくり大学)
業務に活用できる企業向け研修会を開催する。
〈情報系〉
- 1) エクセル活用講座 (2h×5 回×2 コース、20 名)
- 2) ネット販売のための商品撮影講座(2h×3 回、10 名)
- 3) イラストレーター講座(2h×3 回、10 名)
- 4) 画像処理講座(2h×3 回、10 名)
- 〈経営系〉
- 5) 若手社員のコスト意識の育成講座(2h×3 回、10 名)
- 6) 営業力強化セミナー(2h×3 回、15 名)
- 7) 顧客満足度向上セミナー(2h×3 回、10 名)
- ② 経営力強化のための個別相談事業
地域企業からの生産管理、顧客満足 (CS)、商品企画、IT 活用などの企業経営に関する相談に対応するため、直接企業へ専門家を派遣して個別に指導・助言を行う。
- ③ 戦略的事業創出プロジェクト
燕三条地域企業が行う新商品開発や既存商品の見直し、新事業立ち上げに際して専門家を派遣して戦略的に支援する。
- ④ 広報活動の強化
- 1) 広報誌リサーチコアレポートを年 3 回程度発行し、リサーチコアの企業向け各種支援事業の PR を行い、リサーチコアの利用促進を図る。
- 2) 燕三条地域の各支援機関が実施する各種研修事業を、目的別に全コースを掲載したパンフレットを作成する。

- 3) センター事業/展示会等イベント/企業支援制度/研修・セミナー/経済・景況情報などをホームページに「ビジネス情報提供」として掲載する。また、月2回配信しているメールマガジンにおいても同内容の情報を配信して、リサーチコアの利用促進を行う。
- ⑤ 「県央中小企業支援プラットフォーム」、「新潟県よろず支援拠点」との連携による経営支援
- ⑥ ホームページ・フリースポットの管理・運営
 - 1) センターにて運用している各種ホームページの更新・改訂および管理を行う。
 - 2) センターおよび燕三条 Wing のフリースポットの管理・運営を行う。
- ⑦ 情報関連機器の維持管理他
 - 1) 各種サーバ、IT 機器のメンテナンスとバックアップ。
 - 2) センター内ネットワークの維持管理
 - 3) 受発注登録システムの更新

【5】需要開拓事業

- 事業費：409,308千円
- 財 源：事業収入474,258千円

☆ 事業の重点

- ◇ ものづくりのまち「燕三条」にふさわしい観光物産館を目指し、新商品や消費者購買動向の情報収集を行い、地場産業に関連する実演や工房を開催することで、燕三条の魅力を表現する。また、道の駅燕三条地場産センターを観光施設として発展的に運営するため、サイクルステーション等を整備すると同時に、手ぶら観光制度を活用し外国人旅行者の利便性を高めることで、インバウンド誘致を強化し、燕三条観光の拠点となる場を形成する。
- ◇ 燕三条駅観光物産センター事業ではデザイン性の優れた商品などを展示販売することで、燕三条の認知度向上及びイメージアップを図る。

(1) 展示・即売事業

(事業費：352,030千円 財源：事業収入413,210千円)

- ① 現在行っている包丁研ぎに加え、鎚起銅器製作等の実演も行う。また、実作業を体験できる参加型工房を開催することで、ものづくりのまち「燕三条」を表現する魅力ある店舗を目指す。
- ② 新商品・話題商品を広く県内外にPRするため各種イベントを開催する。
- ③ 二次交通充実のためレンタル自転車の導入とサイクルステーションを整備することで燕三条観光の拠点となる場を形成する。【新規】
- ④ 手ぶら観光制度を活用し外国人旅行者の利便性を高め、免税店の利活用を含めインバウンド誘致を強化する。【新規】
- ⑤ 商品名入れレーザー機器を導入し顧客満足の向上を図り、燕三条製品の販売拡充につなげる。【新規】

(2) 燕三条駅観光物産センター事業

(事業費：57,278千円 財源：事業収入61,048千円)

- ① 新幹線利用客を対象にGマーク受賞商品等を展示即売する他、新商品や話題性のある商品を展開し、地場製品のPRを行う。
- ② 案内サインなどを見直し、外国語表記などを加えて燕三条製品のPRを行う。
- ③ 外国人旅行者の手ぶらで観光できる環境を整備し、集客を図る。【新規】

【6】収益事業

○ 事業費：116,491千円

○ 財 源：事業収入173,400千円

☆ 事業の重点

- ◇ 他地域の地場産センターや道の駅と連携したイベントを開催し、多くの集客を図ることで集約的に燕三条製品のPRを行い、地域経済の活性化を促進する。
- ◇ 営業活動を充実させ利用率の向上を図るとともにお客様とのコミュニケーションを大切にし、満足していただけるサービスを心がける。
- ◇ 燕三条食材を使った料理を、燕三条製のテーブルウェアで召し上がっていただき、料理のおいしさと、使う楽しさを実感いただけるレストランづくりに努める。

(1) 他地域連携販売事業

(事業費：33,833千円 財源：事業収入42,750千円)

他地域の地場産センターまたは他道の駅と連携した魅力あるイベントを開催し、多くの集客を図ることで集約的に燕三条製品の販売拡大を行うと同時に、地場産業に関連するイベントを併設することで、ものづくりのまち「燕三条」を効果的にPRする。

(2) 貸館事業

(事業費：17,818千円 財源：事業収入65,360千円)

- ① 多目的大ホールを中心とした営業活動を充実する。
- ② 見本市展示会総合ハンドブックへ広告を掲載し展示会などを誘致する。
- ③ 利用者へのサポートを強化し顧客満足度を上げるよう努める。

(3) レストラン運営事業

(事業費：64,790千円 財源：事業収入65,290千円)

- ① 燕三条の食材で美味しい料理を提供し、燕三条の良さを感じていただけるよう努める。
- ② 燕三条製テーブルウェアを使い食事を提供し、またパーティでも燕三条製のバンケットウェアなどを加えた会場づくりを行うことにより、幅広い燕三条製品の良さを実感いただく。
- ③ 施設利用者向けのサービスとして、利用会場まで飲食の提供を行う。
- ④ 地場産発のお土産品の開発、販売を行う。